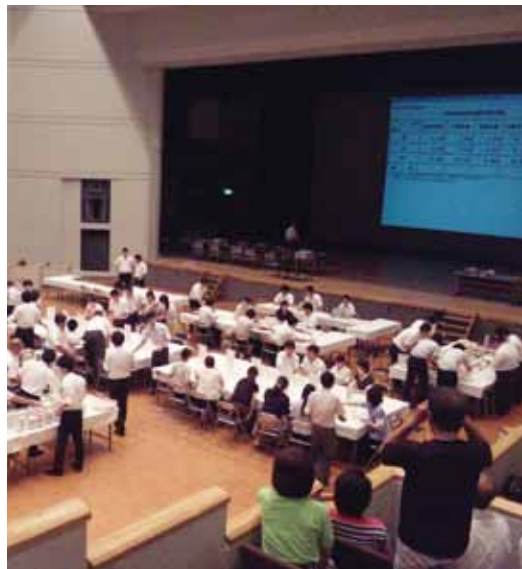


# Q. 改選ごとに低下する投票率に何か対策は

## A. 今後は新手法も視野に入れて進めます



藤岡 緑 議員



文化センター即日開票場のような

**問** 松前町議選において改選ごとに低下する投票率に何等かの歯止めがかけられないのか、具体的対策を問う。

**答** 総務課長

今回の投票率は65・86%で4年前に比べて3・02ポイント低く投票所別においても一つを除いてすべて下がっています。年齢別に見ると20代で42・62%と最低で、順に上がり70代の84・07%が最高値を示しています。若年層の投票率の低さは、全国的な傾向ではあ

りませんが、今後も広報紙やHP懸垂幕、防災行政無線、車での広報などの周知啓発に努めます。またケーブルテレビやNHKのデータ放送なども行ってきました。小中学生の頃から政治や選挙に興味を持って頂くように啓蒙し成人式にも資料配布などもしています。今後は、ツイッターなどインターネットを利用したより情報化時代に即した手段も若干の法整備など検証しながら導入に向けた取り組み、先進事例を研究します。

**問** 公共下水道の環境整備について

事業認可区域外などの公共下水道整備の相当遅れる地域では、下水処理の環境整備の中で臭いの問題など住民間のトラブルも起こっている。町として広報や支援対策が必要と思うが、考えは。

**答** 合併処理浄化槽の設置を推進します  
上下水道課長

公共下水道認可区域外については、生活排水による水質汚濁を防止するため合併処理浄化槽の整備を推進しています。

この事業は、国、県、町の補助金が交付され限度額は浄化槽の大きさで決められています。

平均的住宅で五人槽となり、既存の汲み取りや単独処理槽から合併処理槽に変えた場合は10万2千円で新築住宅での敷設に比べて6万5千円も高く補助金が交付されます。

それだけ既存のものから改修する分により厚く支援しています。

町の今年度募集基数は当初5人槽で106基で国、県の内示は81基でした。その分と7人槽で12基、10人槽で6基を補助することを広報しています。募集予定基数以上の申し込みがあれば交付金の追加要望をいたします。

汲み取り式の臭いについては、臭突の高さの調節、EM菌を注入しての減臭など個々の対応をお勧めします。

また環境整備のために、公の会合などで更なる合併浄化槽の設置の啓蒙を図っていきます。

**問** 小中学生を対象にした環境家計簿について

現段階の集計結果と、活用の行方は。

**答** 今後の町の省エネルギー対策の具体的な取り組みに活用します  
保健福祉部長

この環境家計簿は、町の省エネルギービジョンの重点施策として、その活動に意識を持ってもらうために作成し今回は小中学生に配布しました。特に中学2年生を対象にした25項目の省エネルギーの取り組みについて「はい」「いいえ」でチェックし夏休みの宿題として提出してもらいました。月ごとに記載する家計簿については、目で見える形で光熱水量の削減やCO<sub>2</sub>排出量の結果が分かるようになっており家族一緒に取り組み、今後、結果も広報します。



環境家計簿